

町議会に関する情報は
「議会ホームページ」へ



観劇 感激 いざ南座へ



かみとんだ

議会だより

表紙関連記事は …… P1~2

町民インタビュー …… 裏面

「かみとん市実行部会長」に就任された
井戸本拓也さんにお話を伺いました！

2025

9

No.191

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会
〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

老人クラブ活動って

どんなことしているの？



老人文化大学人権学習



老人文化大学日帰り研修（演劇鑑賞）

ワクワク

ファイト！



ニュースポーツ大会（グラウンドゴルフ）

開会式



令和7年度 上富田町老人クラブの紹介

令和6年末で3つの単位老人クラブが休会となりました。また、6月1日付けで1クラブが新たに結成され、今年度は14クラブとなっています。

名 称	会 長 名
岩崎老友会	鈴木 安 吉
上村不老会	沖 田 公 子
梅田サロン	藤 井 史 子
南紀の台むつみ会	花 村 紘 一
日吉会	井 上 秀 男
生馬口寿会	木 本 眞 次
生寿会	吉 田 盛 彦

名 称	会 長 名
岡老人クラブ	山 本 明 生
白寿会	中戸川 敏 彦
高砂会	木 村 忠 美
明寿会	松 尾 邦 彰
龍松会	秋 月 秀 公
柏寿会	田 上 千代子
稲葉根王子会	西 原 玉 久

ガンバルぞ!!



田辺・西牟婁ふれあいスポーツフェスティバル



岡小まつりでの瓢箪加工製品作り

老人クラブに入りませんか!!

- 老人クラブでは、笑顔のある町、安心・安全な町づくりのための活動や、健康づくりや介護予防で人と繋がったり、地域支え合い活動を通じた仲間づくりなどの活動を行っています。
- 加入年齢は、おおむね60歳以上の方ならどなたでも大歓迎です。
- 老人文化大学では、講演会や日帰り研修会などを行っています。
- そのほか、各地区の老人クラブの活動も様々行っています。
- 人生100年時代、色々な人と繋がりながら、生きがいのある毎日を過ごしませんか。
- 老人会に加入されると、福利厚生事業の利用や日々の生活や老人クラブ活動における事故やけがに
対処するため、和歌山県老人クラブ傷害保険制度に加入できます。(希望者/有料)



お問い合わせ先:上富田町役場 長寿課 ☎ 33-7340

※表紙の写真は、老人クラブの行事である老人文化大学の日帰り研修として京都南座へ
演劇鑑賞 (華岡青洲の妻) に行ってきました。

※9月末には大阪・関西万博見学を予定しています。

目次



- 特集記事 (老人クラブ) P.1 ~ 2
- 議会報告 P.12 ~ 13
- 委員会レポート P.14
- 町民インタビュー 裏面

かみとん市実行部会長にお聞きしました！



動画配信も
しています！



議会 YouTube
QR コード



平 田 美 穂 議員

1. 教育・福祉の視点からの物品支援のあり方について
2. 学校・公共施設における衛生環境の整備について
3. 障害のある子どもを持つ家庭に対する「親なきあと」の支援について



YouTube QR コード

学校の女子トイレに
自由に使える
生理用品の設置を

教育・福祉の視点からの物品支援のあり方について

問 消費期限が近づいた備蓄物資の有効活用について、どのように災害用物資が分配されるのか、今まで備蓄されていたものはまだ保管されているのか、それまでの古い備蓄用品はどのように処分されたのか、まだ保管されているのであれば、今後どうなるのか。

答 過去には、生理用品やおむつなど購入から10年以上経過したため廃棄処分としたものもある。現在は、備蓄物資は一度に大量に購入するのではなく、一定量を定期的に購入し期限が近づいた物から有効活用していくローリングストック方式により進めている。今年度消費期限の近づいたパンやアルファ米を町内の小学校の全児童分を配付、また、社会福祉協議会のまちかどカフェなどで梅がゆの配付をお願いした。消費期限などを確認しながら有効活用できるように進めていく。

問 使えるものは無駄にせず、地域の皆さんのために役立てていただけるよう、これからも工夫していったほうがいいと思う。特に子供や高齢者の方など、日頃から支援が必要な人たちにうまくつながる仕組みができれば、きっと町の安心感にもつながるはずだ。町が備蓄している賞味期限が近づいた食料等について、子ども食堂の地域福祉活動に有効活用できないか。

答 子ども食堂で、ローリングストックの備蓄の配付についてもご協力いただければ大変ありがたい。

学校・公共施設における衛生環境の整備について

問 学校の女子トイレに、自由に使える生理用品の設置を提案する。中学校の女子トイレで自由に使える生理用品の設置を進める自治体は、2024年10月時点で926自治体と報告されている。現在、生理用品が必要になった場合には保健室に取りに行くようになっている。しかし、経済

的理由や様々な家庭環境により、生理用品の入手が困難な子や急に生理になってしまった、また、持ってくるのを忘れた、足りなくなったという状況においても、保健室に行くのは恥ずかしい、行きづらい、そういった子供がいる。思春期の子供たちがもっと安心して過ごせる環境を整える一歩として、検討できないか。

答 学校とも相談しながら前向きに検討する。

障害のある子どもを持つ家庭に対する「親なきあと」の支援について

問 障害のある子供を育てる保護者の多くが不安として挙げるのが、自分たちが亡くなった後、または支援ができなくなったときにこの子はどうなるのかという親亡き後の問題がある。障害のある子供を育てる家庭が町内にどれほど存在し、親亡き後に対する不安や課題をどのように認識しているのか。

答 障害のあるお子様を育てるご家庭については、障害福祉サービスの利用申請に係る実態調査や関係機関との情報共有等を通じて、現状の把握に努めている。ご家庭からの相談については、担当職員による訪問調査や本庁への来庁による面談、電話での対応など、ご相談者の状況やご希望に応じて対応している。福祉圏域1市4町で構成する西牟婁圏域障害児・者相談センターにじのわへのご相談も可能である。現行の障害福祉サービスにおいては、個々のご家庭に応じた支援にはつながっているものと認識している。適切な支援制度等につなげながら一つ一つ課題解決に向けて取り組んでいく。



栗田 八郎 議員

1. 防災対策について
2. 町道について
3. 工事契約について
4. 脱炭素社会について



YouTube QR コード

安全・安心な
地域づくり

防災対策について

問 砂防事業や急傾斜地対策事業において、国、県の補助事業に採択されると予測される箇所を上富田町として洗い出し要望しては。また、新規要望に向けてどのようにしているのか。

答 砂防事業として県に要望するには幾つか採択要件をクリアする必要があり、和歌山県の土砂災害マップや本町の地域防災計画を確認し、町内で指定されている土砂災害警戒箇所、保全対象施設である人家、避難所及び学校など公共施設の位置について、その関係性が分かるよう図面にプロットし、次に、災害対策本部となる本庁舎はもとより、各避難所や重要となる防災拠点へのルートについて国道や県道及び町道に区別し、プロットした図面と重ねることで、土砂災害などが発生した際に、どのルートが被災により通行できなくなるのかが明確になってきた。採択要件を調査する中で、本庁舎並びに各避難所や重要防災拠点へのルートについて、上富田町地域防災計画に避難路として指定することで、採択の優先度が上がることも分かった。現在、作成した図面を基に本町の地域防災計画に避難路として位置づけできるよう進めているところである。また、これにより、災害時、まず、どのルートを道路警戒すべきかが明確になるため、和歌山県や協力事業者とも迅速な調整が可能となる。

今後、具体的に要望活動を進めていくに当たり、まずは、県と事前協議を行い、採択可能と確認できれば、費用対効果の大きい箇所から優先順位を付し、また、地元住民や利害関係者へ事業要望について説明を行い、協力が得られれば正式に県へ新規要望書を提出する予定である。



脱炭素社会について

問 町内公共建築物の木造、木質化に対する考えについてはどうか。

答 現在、世界各国で脱炭素化社会の構築に向け、様々な分野においてカーボンニュートラルを目指す議論、取組がなされている。この中で、公共建築物の木造、木質化についても、木造は建築時に炭素排出が少なく、木は炭素を固定し貯蔵する特性から「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」及び「建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」により公共建築物への木材利用が推進されており、当町においても、上富田町木材利用方針を定め、町が整備する公共建築物は可能な限り紀州材を使用するとしている。低層の公共建築物においては、原則として木造化を図るものとし、それ以外の建物であっても技術開発や建築基準の合理化の進捗状況、木造化に関するコスト面の課題の解決状況等を踏まえ、積極的に木造化を推進するものとしており、脱炭素の観点から、近年、中高層建築物への木材利用が普及しつつ、公共建築物の大規模改修や新築を検討する際には、積極的に木造、木質化を図っていきたいと考えており、木造、木質化のメリット・デメリットを踏まえ、木造化が難しい場合でも内装部分などの木質化を図るなど、可能な限り紀州材を使用していきたいと考えている。

※この他、「町道について」、「工事契約について」も質問をしています。





中井 照恵 議員

1. こども誰でも通園制度について
2. 災害に強いまちづくりをめざして
3. ごみ減量化の取り組みについて



YouTube QR コード

はるかぜで！
誰でも通園

こども誰でも通園制度について

問 こども誰でも通園制度が2026年度から開始される予定だが、町の受け入れはどこになるのか。

答 各市町村で最低でも1か所の設置が必要とされている。当町では町立はるかぜ保育所1か所での実施を予定している。

問 現状の一時預かり事業こうまのおへや*との違いは。

答 現状の一時預かり事業は利用対象が町内に住所がある生後6か月から就学前の児童で、定員は1日3人まで。利用料は1時間400円だが、その2分の1、年度につき上限1万5千円を町が補助する。年間の利用制限なし。こども誰でも通園制度は全国で利用でき、対象は生後6か月から3歳未満の児童で、月10時間まで利用可能。利用料金は国が示す1時間300円を基本に検討中。

問 受入れ人数は。

答 当面は1日当たり3人までの受け入れとしたい。

問 スマホで予約できるシステムの導入の検討は。

答 国で総合支援システムが構築されている。このサイト(アプリ)から全国の受け入れ施設の予約可能。



災害に強いまちづくりをめざして

問 2023年時点の全国の耐震化率90%。和歌山県は84%。上富田町は70.51%である。今年、県は木造住宅の1階だけの耐震化も新しく補助対象に追加した。この県の補助拡充を受け、町として今後どのように取り組んでいく考えか。

答 今年度から1階改修型を導入した県内市町村は9市町。町としても拡充に向け、前向きに検討する。

問 三重県四日市市の例であるが、1階改修型に加え、建物全体の倒壊の可能性を下げる改修を『段階改修』としてメニュー化し、補助対象としている。上富田町でも、耐震化率アップのために住民の選択肢を広げていくことが大切では。

答 段階改修について調べたところ、全国の幾つかの自治体での取り組み事例が確認できた。内容等、今後の研究課題としたい。



* こうまのおへや・・・現在、町立はるかぜ保育所内で行われている一時預かり事業。



※この他、「ごみ減量化の取り組みについて」も質問しています。



吉本和広 議員

1. 物価高騰対策として水道の基本料金の免除等について
2. スポーツセンター駐車場の人工芝の撤去等について
3. コミュニティバスの通学使用について
4. 避難所のダンボールベッドについて



YouTube QR コード

安全な
バス通学に！

物価高騰対策として水道の基本料金の免除等について

問 約 170 名の方からお聞きすると、「コメの値段が倍以上で、買い物たびに物の値段が上がっている。行く回数を減らして買わないようにしている」「給与も上がらない。子どもが 3 人いて、食べ盛りで、食費が増えて大変だ。」と話されていた。年金は実質削減され、今後も続く。自由に使える町の貯金である財政調整基金は約 17 億 1,000 万円に増えています。水道料金の基本料金を事業所も含め 4 か月免除する予算約 3,800 万円は、一人当たり約 11 万円ある財政調整基金の約 2,500 円分にすぎません。クーラーが必要となる夏場の熱中症対策も含め、これぐらいは少なくとも実施すべきだと考える。これよりも良い対策を考えているか。

町長 今は、特に対策は考えていない。今後の国の動向を見て検討したい。

スポーツセンター駐車場の人工芝の撤去等について

問 人工芝には PFAS が含まれていて、にじみ出してくると答弁された。国際がん研究所は、「PFAS は人に対する発がん性がある」と分類している。PFAS の含まれる人工芝が調整池や飛曽川池に貯まれば、大谷地区の田んぼで作られる稲が汚染され、住民の健康を害すると思う。駐車場に敷かれた人工芝を見に行くと、芝に挟まれたチップが表面に大量に出ている。ゴムチップには、亜鉛、鉄、アルミニウム、鉛が含まれている。町のごみ処理ではゴム類は埋め立てごみに分類されている。埋め立てにすべき、チップが流れ出している。撤去すべきでは。

答 9 月補正で予算を提案し撤去する。

問 人工芝のサッカー場からもチップが 14 年間流れ出している。流れ出さない整備を行うとともに調整池や飛曽川池の水質検査を行うべきでは。

答 流れ出さない対策を行う。水質検査も行う。

コミュニティバスの通学使用について

問 南紀の台のパブリック地区の保護者の方から通学用のコミュニティバスに 1 年生の子ども達は座席が足りず立って乗って行っている。子どもは「怖い、バスに乗りたくない」と言うので、早く出るパブリック発のひょうたんバスなら、座席が確保できるので変更してもらったと言っていた。

3 台のバスに 3 日かけて乗ってみた。運転手さんに聞くと、行きは、20 名程度立っている、帰りは 30 名立っていると。乗ってみると本当であった。高台にある南紀の台は、急な坂に加え長いカーブや鋭角に曲がるカーブが多く、ランドセルを担いで立っている子どもの足は滑っていた。私の足に当たりこけそうになる子もいた。停止や発信の時は、体が揺れて立っているのが大変であった。相手が交通ルールを守らず、仕方なく急ブレーキをかけた際には、前に倒れ、先頭の子どもの多くの子どもの覆いかぶさり、ろっ骨を折ったり、押さえつけられて息ができない状況になり、大惨事になる。責任はだれがとるのか。増車すべきでは。

答 委託をしている上富田町の責任も当然免れない。

副町長 以前増車も検討したが運転手が確保できなかった。委託会社からも運転手が不足（バスの確保の問題もあり）していると言われており、その問題が解決されれば検討したい。

問 運転手（とバス）が確保できれば、増車する意志はあるということか。子ども達も町長さん、副町長さん、教育長さんに乗ってもらって、状況を知ってほしいと言っている。乗ってもらえるか。

答 町長、副町長は乗るようにする。
教育長は乗ったことがある。

※この他、「避難所のダンボールベッド」についても質問をしています。



山本 哲也 議員

1. 梅収穫期の人手不足解消策について
2. ペットに優しい町
3. 中学校制服におけるハーフパンツの導入について
4. 小中学校における制服代及び修学旅行代の行政による支援について
5. 学校給食について



YouTube QR コード

ペットに
優しい町へ！

梅収穫期の人手不足解消策について

問 収穫期の人手不足が深刻な問題となっていることを強く実感している。この状況を町として認識しているか、また、どのように対策を講じているのか。

答 町としても人手不足については認識している。対策については、学生を研修で受入れを行っていることや、上富田町に移住したスポーツ選手も一役買ってくれている。また、木の背丈を抑えるカットバックや背丈を低くするムカデ整枝など、新技術の導入が進められており、これらの技術が普及することで、人手不足の解消だけではなく、持続可能な農業の実現に貢献されることに期待している。

問 梅の収穫期における人手不足の解消策については十分な対応がなされておらず、今後の対策についても、本気で取り組む意思があるのか疑問に感じる。真剣に取り組む気があるのか。

町長 非常に貴重な意見であり、今後の行政運営の参考にさせていただく。



ペットに優しい町

問 ペットは大事な家族の一員。大規模災害が発生した場合には、飼い主がペットを連れて避難所等に避難することが想定される。現在当町では、ペットの同行避難をどのように推進しているか。平時からの広報活動は行っているか。災害時にペットを受け入れる際の具体的な手順や体制について、準備状況はどうなっているか。

答 ペットの同行避難などについて、現在は広報などできていない状況。また、ペットの受入れの具体的な手順や体制及び避難所におけるペット専用スペースなどの指定についても未整備となっている。

問 このままでは、災害発生時に町民が混乱することは避けられないのではないかと懸念される。ペット災害対策マニュアルやペット同行避難マニュアルを作成する必要性について、見解を伺う。

答 各避難所で駐輪場などを活用したペット専用スペースを設けることから始める。これにより、ペットを連れて避難する方々に少しでも安心して避難していただければと考える。次に、避難所の運営側ができることと飼い主の方に責任を持っていただくことを明確にしたマニュアルを整備する。避難所運営マニュアル等に追記する。これにより避難所での混乱を防ぎ、スムーズな受入れ体制を整える。最後に、ペットを飼っている方が避難をためらわないように、またペットを飼っていない方々にもご理解いただけるよう、広く啓発活動を行う。



※この他、「中学校制服におけるハーフパンツの導入について」「小中学校における制服代及び修学旅行代の行政による支援について」「学校給食について」の3項目について質問をしています。



松井孝恵 議員

1. 巨大地震と市ノ瀬農業集落排水について
2. PTAと学校について
3. 西牟婁郡町村会について
4. 鳥獣害捕獲動物の処分方法について



YouTube QR コード

何をする会？

西牟婁郡町村会について

問 西牟婁郡町村会は、仲よし会ではない。
言うべきことは言い、主張すべきは主張する。
議会も、西牟婁郡議長会を結成し、日々交流している。
例えば、『学校給食無償化による不公平感の解消を求める意見書』、最初、市ノ瀬小学校に子供が通うお母さんから「助けて欲しい」という依頼があった。田辺市の議長に資料提供いただいて、知事、担当課に直接届けることができた。
他の行政局へ手をつなぐことは許されることではないが、共通の課題は、しっかり意思疎通を図りながら、協力施策を講じる必要がある。

そこで、事業報告には書かれていない、首長同士の繋がりから何かなされたことはあったか。

答 首長同士の繋がりからなされたことは、令和6年度はない。

問 3町の支出金額は、それぞれいくらか。

答 令和6年度の負担金は、上富田町334万5,000円、白浜町482万9,000円、すさみ町269万8,000円である。

問 白浜町が郡の町村会を抜けた。先進地視察、共通の課題を見に行くとき、どうされるか。

答 郡町村会において検討される。2町における共通の課題はあると認識している。

問 町村会の職員の令和6年度の経費はいくらか。

答 事務局職員2名分の人件費は、746万5,371円である。

問 746万円、令和6年度の負担金が1,000万ちょっと。大体が人件費である。

令和7年度、白浜町が脱退して支出金額が返還された。町長は会長をされていたが、白浜町は何故、脱退されたのか。

町長 4月に白浜町から脱退の申し出があった。脱退の理由は、白浜町が決断されたことで、個別の事情は話すことは差し控える。

問 個別の事情は話していただく必要はないが町長としては、ご存じなのか。
会長をされていたから、ご存じか。

町長 私は、直接白浜町長から聞いたことはない。

問 今年度は人件費を賄えるのか。

町長 9月議会で補正予算を計上する予定である

問 白浜の町長は、たった1年前に町長になったばかり、行政経験は全然ない方。町長は7, 8年、政治経験も20年。

白浜町を説得しなかったのか、何か話し合いを持たれたか。

町長 私自身は白浜町に行って話したことはない。白浜町から脱退の申し出があったというだけであって、私は白浜町に説得に行っていない。

問 このままの状態が和歌山県の中で、西牟婁郡だけがそんな状態というのはおかしい話。

今から40年前、各政党の垣根を乗り越えて、命を削って魂をかけた法律、それは玉置先生が成立させた『半島振興法』である。「一隅を照らす」という言葉がある。全国で東京から一番遠い和歌山、一番遠い紀南に太陽の光が降り注いだ。しかし、それから40年、この和歌山・紀南において、少子高齢化の加速、大地震の予兆、避けて通れない課題が目の前にある。単に西牟婁3町の課題ではない。

今こそ和歌山・紀南に住む我々政治家、議員も首長も一致団結して力を合わせるべき時だ。

白浜を説得すべきではないか。

町長 白浜が下した判断であり、私から説得に行くわけにはいかないと思っている。

※この他、「巨大地震と市ノ瀬農業集落排水について」、「PTAと学校について」、「鳥獣害捕獲動物の処分方法について」も質問しています。



井 溪 港 斗 議員

1. 教育格差の是正と地域の子どもたちの未来について



YouTube QR コード

生まれ育った町に
未来を描ける教育を！

教育格差の是正と地域の子どもたちの未来について

・教育格差の現状と課題認識について

問 上富田町の子どもたちの学力水準や、教育格差の現状をどう認識しているか。また、将来の進学や就職、人口流出への影響についてどう考えているか。

答 本町の小中学生の全国学力テストの結果は、ほぼ全国平均である。ただし、一部の学級では学力の二極化が見られ、学力の格差が出てきている。格差を放置すると、学校経営が不安定になり、学級運営や将来の進学・就職に悪影響を及ぼす可能性がある。今後、少子化がさらに進んだ場合には、地域における学校の存在そのものを脅かすことも想定される。引き続き各校での検証と対応を進め、子どもたちの学力向上に取り組んでいく。

・ICT 教育と家庭学習支援について

問 学級内での学力の二極化を是正するために、ICTの活用や家庭学習の支援といった学校外での学びをどう充実させていくかが、重要になると考える。オンライン教育や学習アプリなどの活用により、家庭でのICT学習を今後どのように進めていく予定か。

答 Wi-Fi 環境のない家庭の割合は2020年時点で、83%である。以前はポケットWi-Fiの貸し出しなど準備はあったが、現状はタブレット端末を持ち帰り、家庭学習に生かす取組はできていない。課題としては、「持ち帰りの手間」「ハードケースがない」などで故障のリスクが高いことも挙げられる。現在は新しい端末への更新を進めており、より軽量で堅牢性のあるものを導入予定。ICT学習を進める際には、環境に依存しないオフラインでも活用できる教材等を取り入れることや、持ち帰りのルールも含めて進めたいと考えている。

・経済格差と学習機会の不平等について

問 低所得世帯では、塾や習い事などが家計にとって大きな負担となり、子供たちが必要な学びの機会を諦めざるを得ない状況が生まれている。家庭の経済状況による学習機会の格差を是正するため、塾や習い事の費用補助や、公民館などの施設を活用した学習支援を含め、町として今後どのように取り組んでいくのか。

答 大阪市ではすべての世帯に塾代を補助する制度が導入されているが、同様の施策を当町で実施するには年間約8,400万円が必要で、現実的には難しい。非課税世帯のみを対象とする場合でも、申請手続きが複雑になる。また家庭の経済状況ではなく、教育機会は全ての子どもに平等であるべきと考察している。公民館などを活用した地域での学習支援については、人材確保が課題だが、元教員や学生ボランティア等との連携も視野に入れ、新たな人材の確保を検討する。

問 大阪市のように、全ての世帯を対象とした事業を本町で同様に実施するのは財政的に難しいと思う。補助額の見直しなど、財政的な負担を抑えつつ、支援を本当に必要にする家庭に届くような制度設計を検討してもらえないか。

答 繰り返しになるが、教育は子供たちの能力や適性に応じて、その機会がひとしく提供されるべきであると考えている。

・若者の地元回帰を促す教育と産業の連携について

問 教育格差の是正は、単に学力や進学率を上げることだけが目的ではない。子供たちがこのまちで育ってよかった、将来もここで暮らしたいと思えるような環境をつくることにも繋がり、まちの未来を形づくる根幹だと思う。地元を誇りに思う心を育むため、子供たちが地元企業と接点を持てるようなカリキュラムや、地域文化・歴史を学ぶ機会を学校教育に取り入れる考えはあるか。

答 子どもたちが将来の地域の担い手として、自分のまちを誇りに思う心を育むような教育が必要であると思う。地域の伝統や文化、産業に親しむ取組を学校と連携を図りながら取り組む。学校だけでは限界もあるため、地域資源の活用や家庭との連携も重視していきます。進学率などの目標は設定していないが、希望進路の実現に向けて進路指導を充実させていき、今後も教育格差の是正に向けた取組を責務として進めていく。



正垣 耕平 議員

1. 地域コミュニティ維持における行政の役割について
2. 公立学校の施設維持管理について
3. 町長の政治姿勢について



YouTube QR コード

地域とは？
未来思考で考える。

地域コミュニティ維持における行政の役割について ・町内会加入率低下の認識と分析について

問 全国的な課題である地域コミュニティ機能の低下、特に町内会加入率の低下について、上富田町でも例外ではない。町として非加入世帯増加の現状をどのように分析し、どのような取り組みを行っているか、また、この加入率低下が地域に与える影響についての認識は。

答 昨年、全 98 単位町内会長を対象にアンケートを実施した。結果「高齢化による脱退」「役員になるのが嫌で加入しない」「転入者が加入してくれない」といった具体的な課題が明らかになった。町は今後も連合会や各町内会と連携し、加入促進と住民自治の確立に努めていく。

・住民ニーズ把握における町内会の役割と行政の取り組みについて

問 町内会加入世帯が減少する中で、町内会要望のみで住民全体の声を的確に把握することは困難である。非加入世帯を含む全ての住民の声をいかに受け止めるか、その具体的な方策（特に公式 LINE アカウントの活用など）は。

答 転入者には町内会加入のメリット（困り事を地域の総意として行政に要望できること）を説明しているが、強制ではないことも伝えている。町内会員・非加入世

帯に関わらず、町民からの困り事があれば役場に連絡してほしいと考えている。町の公式 LINE アカウントは情報発信ツールとして活用されており、現在約 1,300 人が登録しており、今後も重要なツールとして活用していく。

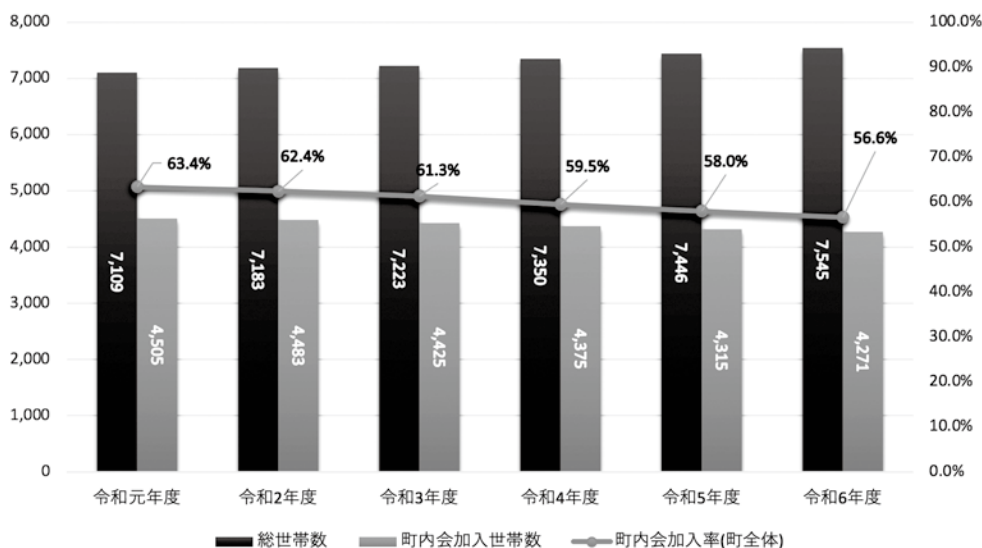
・持続可能な町内会運営への行政支援について

問 高齢化や人口減少が進む中で、町内会運営を持続可能にするための行政の支援策、協力関係の再構築、具体的な負担軽減策、非加入世帯への認識と情報提供のあり方について、行政としての考えは。

答 人口減少や高齢化、財政状況の厳しさから行政のみで全ての公共サービスを担うには限界があり、町内会が担う業務を全て行政が担うと住民の課税負担に跳ね返る可能性もあります。行政からの委託業務が本来の活動を妨げる場合は、町内会側から意見を伝えることも必要です。地域コミュニティ維持の課題は一朝一夕には解決できない、町内会連合会や単位町内会の意見を参考に、一つずつ課題を抽出し、地道な活動を進めていく。今後も全国の事例を参考に、地域コミュニティのあり方を研究していく。

※その他、「公立学校の施設維持管理について」、「町長の政治姿勢について」の（2）項目についても質問をしています。

町内会加入率



情報提供元：振興課（町内会加入世帯数及び加入率）
住民課（総世帯数）



6月議会 会期(令和7年6月10日～23日) 14日間

私はこう判断 (○賛成、×反対) *議長は採決に加わりません		井 溪 港 斗	栗 田 八 郎	平 田 美 穂	松 井 孝 恵	山 本 哲 也	正 垣 耕 平	家 根 谷 美 智 子	中 井 照 恵	吉 本 和 広	谷 端 清	榎 木 正 行	大 石 哲 雄	会 議 の 結 果
条例改正	税条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	共同作業場設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小学校及び中学校施設使用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例廃止	小規模多機能施設設置及び管理に関する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度 補正予算	一般会計(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	一般会計(第2号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	工事請負契約の締結(庁舎改修工事)	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	公有財産売買の取り扱いに関する決議	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	物品購入契約の締結(小型動力ポンプ付水槽車)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	物品購入契約の締結(小学校タブレット端末)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	物品購入契約の締結(中学校タブレット端末)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結(大谷総合センター耐震改修工事)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人 事	教育委員会委員(1名)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	人権擁護委員(4名)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	適任

人事案件

令和7年7月9日の任期満了に伴い、上富田町教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めるもの

●朝来 深見 将史氏(再任)

令和8年1月1日付で、人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めるもの

●朝来 藪内 博文氏(新任)

令和7年12月31日の任期満了に伴い、人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めるもの

●朝来 榎木 正行氏(再任) ●市ノ瀬 宮本 勲氏(再任) ●朝来 幾島 浩恵氏(再任)

自治功労者表彰

議会議員として、11年以上在職され、地方自治の振興と発展に寄与した功績により、榎木正行議員、松井孝恵議員が和歌山県町村議会議長会から表彰されました。



公有財産調査特別委員会報告

3月定例会で特別委員会が設置され、町の事務処理の適正を図ることを目的に、関係書類などを求めて事務検査を実施し、問題点及び改善点を明らかにすべく調査・検討を行いました。

6月定例会では、調査結果を踏まえ委員長報告を行い、「公有財産売買の取り扱いに関する決議」を提出し、全会一致で原案通り可決され、これをもって公有財産調査特別委員会を終了いたしました。

公有財産売買の取り扱いに関する決議

『問題点』

- ・ 契約日（令和6年2月20日）現在、原課の職員を相手方とし、町有財産売買契約書を締結している点
- ・ 担当課として法的な知識や手続きに対する理解が不十分であった点
- ・ 上富田町財務規則（第5条及び第112条）に則って事務手続きがされていない点
- ・ 公募の方法に統一性が認められない点

『改善を求める事項』

- ・ 法令等に対する知識の向上

関係法令や手続きについて定期的に研修を行い、担当職員の知識水準の向上を図られたい。

- ・ 公募方法の標準化及びガイドライン作成

募集手順や基準を明文化し、統一した運用ルールを策定する。これに基づき、募集方法の一貫性を確保し、透明性を担保されたい。また、作成したガイドラインについては、定期的に見直し、適宜改訂されるよう求める。

- ・ 議会への報告

町有地の売買契約について、売買額又は面積に関わらず、適宜議会に報告されたい。

町長及び町執行部においては、町有地は上富田町民の財産であるとの認識に立ち返り、その売却処分については、本町に最も有益な対価が得られる方策を探求されるよう強く求めるとともに、上記改善事項について、全庁的に取り組まれたい。

委員会レポート

常任委員会は、定例会前等で開催され、所管する事務について
町当局から説明を受ける他、現地視察などの調査を行っています。

総務文教常任委員会

【調査日】 令和7年6月2日、6月10日

さわやか上富田まちづくり寄付金の状況について

○指定分野別寄付数

指定分野別寄付	件 数	寄付額
自然環境の保全に資する事業	6,120 件	79,196,500 円
子どもたちの健全な育成と安心安全なまちづくりに資する事業	11,450 件	155,499,830 円
文化芸術及び生涯スポーツの振興に資する事業	9,020 件	104,214,000 円
その他目的達成のために町長が必要と認める事業	8,688 件	103,673,000 円
合 計	35,278 件	442,583,330 円

上富田町立小学校屋内運動場空調設備設置工事について

○工事の概要

教育環境の改善及び災害発生時における地域の避難所としての機能強化を図るため、体育館への空調設備の設置を行った。

○上富田町立小学校屋内運動場空調設備使用料

1 時間あたり

名 称	全面	半 面
朝来小学校	3,300 円	1,650 円
生馬小学校	1,650 円	—
岩田小学校	2,200 円	—
岡小学校	2,200 円	—
市ノ瀬小学校	1,650 円	—

厚生建設常任委員会

【調査日】 令和7年6月3日

避難行動要支援者名簿及び個別避難計画について

災害時等における避難行動に際して困難が伴い、何らかの助けを必要とする方（避難行動要支援者）への実効性のある迅速な避難支援につなげるべく、上富田町では災害対策基本法に基づき、「避難行動要支援者名簿」を作成し、避難支援等関係者（消防・警察関係、町内会・自主防災組織等）への名簿情報を提供するとともに、「個別避難計画」についても、対象者の同意に基づき、現在作成を進めている。



加圧式給水車の納車について

町は、近年の異常気象や地震などの大規模災害、また突発的な事故による断水に備え、応急給水体制を強化することを目的に加圧式給水車を購入しました。

- ・加圧式給水車：四輪駆動方式（AT）
飲料水 3,000 ℓ



特集

町民インタビュー



この度新しく「かみとん市実行部会長」に就任された 井戸本拓也さんにお話を伺いました!



Q 「かみとん市実行部会」とは、どのような団体なのか教えてくださいませんか?

A 上富田町商工会を母体とする団体で、町内の多くの飲食店・商店・企業が出店する「かみとん市」、そして、町内店舗を周って買い物をしていただくスタンプラリー「ぐるぐるかみとん市」を企画運営しています。

Q 井戸本会長ご自身にとって「かみとん市」とは、どんな存在ですか?

A これまで24回開催してきました。そのどれをとっても来場いただいた方々の笑顔溢れるイベントとなっています。僕自身も第1回から運営に携わらせていただいて、町内の活気ある事業者の方々や来場者の方々の笑顔を間近で見ることができる町を代表するイベントだと思っています。

Q 今後の「かみとん市」で、挑戦したいことや新たな企画はありますか?

A 町内には多くの事業者・企業がありますが、周知されているのは一部のみです。「上富田町にはこんな人たちがいるんだ、こんな商品・会社があるんだ」と来場いただいた方々に知ってもらいたいとの想いで企画運営を行っています。今後は、よりその想いを具現化した企画を行っていきたいです。そうすることで来場いただいた上富田町民や近隣住民の地域愛を育んでいけるようなイベントにしていきたいです。



第25回かみとん市を今年も開催します!

11月3日(月)(文化の日)

昨年よりもさらに来場いただいた方に喜んでいただけるような、また楽しんでいただける内容となっていますので、友人・家族お誘いあわせの上、ご来場ください。

みんな来てねー!

編集後記

“笑顔が集まる場所”として歩んできた「かみとん市」。

井戸本会長のお話からは、地域をより元気にしたいという真摯な姿勢が伝わってきました。単なるイベントにとどまらず、上富田町の魅力を再発見し、人と人、店と地域をつなぐ大切な場として続いていることがよくわかりました。「上富田の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい」—そんな想いが詰まった11月3日の第25回「かみとん市」。今まで以上にワクワクする一日になりそうです!

(山本 哲也)



町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ



議会
YouTube QRコード

議会広報特別委員会

委員長	谷 端 清
副委員長	中 井 照 恵
委員	井 溪 港 斗
委員	平 田 美 穂
委員	山 本 哲 也
委員	正 垣 耕 平